

TOKYO働き方改革宣言

働き方改革(Work Style Evolution)を実現することで、社員の健康を確保するだけでなく、革新的なアイデア創造に繋げ、企業目的「患者さんの生活を大きく改善する革新的な治療法を提供する」を達成します。

平成28年9月26日

ファイザー株式会社

目標

《働き方の改善》限られた時間を有効に活用し、高い成果を挙げた社員を評価する文化をつくります。また、常に業務を見直し、無駄を省き、恒常的な残業を無くしていきます。

《休み方の改善》誰もがまとまった休暇を取得して、リフレッシュできる文化をつくっていきます。

取組内容

《働き方の改善》・「標準労働時間内にできること」という観点から業務を抜本的に見直します。
・フレックスタイム制度(オフデーやウィークエンドフレックスを含む)を最大限活用します。
・時間内に効率良く高い成果を挙げた社員を評価します。

《休み方の改善》・全社員が2週間の連続休暇、もしくは、1週間の休暇を最低年2回、計画的に取得します。
・上司は“休むことも仕事のうち”と考え、率先してまとまった休みを取得します。
・休日に出勤しなければいけない時は、振替休日を取得します。